

第2次広島県がん対策推進計画の取組状況について (相談支援, 情報提供分野)

【情報提供及び相談支援の目指す姿】

- 県民一人ひとりががんに関する正しい情報の提供を十分に受け、正しく理解し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組んでいます。
- がん患者が納得した治療を受けながら、家族等とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。
- 医療機関や職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が仕事や家庭生活と治療を両立させながら、安心して自分らしく豊かに暮らしています。

資料 ページ	第2次計画 掲載ページ	項 目
1	p 105上段	がんに関する情報提供
2	p 105下段	がんに関する情報提供
3	p 106, p 107	がん患者・家族等への相談対応
4	p 106下段	がん患者・家族等への相談対応
5	p 107	がん患者・家族等への相談対応
6	p 108	がん教育
7	p 109上段	がん患者・経験者等への就労支援
8	p 109下段	がん患者・経験者等への就労支援

相談支援・情報提供推進会議(H28.3.23)資料

【評価欄の評価方法】

- A・・・既に目標を達成
- B・・・目標に対して順調に推移
- C・・・変化が横ばい
- D・・・目標に対して減退傾向
- E・・・状況確認不能

■がんに関する情報提供 に関する取組内容とその実績・効果等 (県がん対策推進計画〔第2次〕 p105)

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)
取組内容	多様な主体と連携した情報提供の推進	県	連携手法の検討	「Teamがん対策ひろしま」事業を開始				【評価 : B】 理由 ・県と企業との連携や拠点病院とハローワークとの連携等, 多様な主体と連携した体制の構築が進んできている。
		市町	情報提供に係る県への協力					
		拠点病院	広報誌や地域の祭りを活用した情報提供の実施					
			最新情報などの研修会・講習会の実施					
		その他がん治療を行う医療機関	ハローワークと連携した情報提供の実施					【評価 : A】 理由 ・当初目標はすでに達成しており, 目標を上方修正し取り組んでいる。
		患者団体等	拠点病院が実施する研修会等への参加					
			拠点病院等が実施する研修会等への参加					
企業	Teamがん対策ひろしまとの連携							
企業	Teamがん対策ひろしまへの参画							
県民	がんに関する正しい知識の習得							
実績	Teamがん対策ひろしま登録企業数	登録数(単年) 登録数(累計)	—	14社 14社	11社 25社			【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能
効果及び課題	具体的な効果及び課題	【効果】 ・Teamがん対策ひろしまの取組を通じて, 企業と連携した情報提供体制が構築できている。 ・拠点病院においては, ハローワークとの連携といった新たな連携体制が進んできている。 【課題】 ・『拠点病院とその他がん治療を行う医療機関』, 『市町と拠点病院』, 『市町と企業』といった部門における連携について, 状況把握を行う必要がある。 ・企業による情報提供について, より主体的な取組を行えるよう推し進めていく必要がある。						

■がんに関する情報提供 に関する取組内容とその実績・効果等 (県がん対策推進計画〔第2次〕 p105)

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)	
取組内容	拠点病院の情報提供機能強化	拠点病院	県が作成する療養情報への窓口掲載(H22～)					【取組に対する評価】 【評価 : B】 理由 ・がんネットへのアクセスが大幅に増加しているだけでなく、相談支援センター等でも情報提供機能が強化されている。	
			市民公開講座の実施						
		がん診療連携協議会	院内がん登録を用いた治療データの集計・分析・公表						
			相談支援部会での情報共有及び機能強化に関する取組の推進						
	「広島がんネット」の充実など	県	がんよろず相談医の養成研修会への参加						【指標に対する評価】 ■広島がんネットのアクセス件数の増加 対平成24年度比増加 H24: 24,783件 【評価 : A】 理由 ・平成24年度と比べて、3倍以上のアクセス件数となっており、目標を達成していると言える。
			地域の療養情報の発行(H22～)						
がん患者団体等からの情報提供の推進	患者団体等	県との共催や後援を受けた公開講座などの実施							
		ピンクリボンやリレーフォーライフといった多くの団体が連携した取組の実施							
実績	広島がんネットのアクセス件数		71,827件	79,030件	85,804件 (2月時点)				
効果及び課題	具体的な効果及び課題		【効果】 ・がんネットのアクセス数が年々増加しており、情報提供機能の強化ができています。 ・院内がん登録などのデータの登録が進んでいる。					【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能	
			【課題】 ・がんネットのアクセス件数は増加しているが、内容を充実させることと、目的の情報を見つけやすくすることの両立について検討する必要がある。 ・拠点病院とその他がん治療を行う医療機関との連携方法等について実態を把握する必要がある。						

■がん患者・家族等への相談対応 に関する取組内容とその実績・効果等 (県がん対策推進計画〔第2次〕 p106, p107)

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)	
取組内容	相談支援体制の充実	県		相談支援センター利用者に対するアンケートの実	相談支援体制充実に関する取組の支援			【評価 : B】 【取組に対する評価】 理由 ・相談数等については、相談件数の統一等の課題もあるが、がん患者団体等の強化については、Teamがん対策ひろしま等による支援により機能強化が進んでいる。 【評価 : C】 【指標に対する評価】 ■すべての相談支援センターの院外相談件数増加 H24と比べて増加 理由 ・半数の施設で院外相談件数が増加しているが、総数で比べると減少となっている。 ■すべての相談支援センターの患者サロン参加者数増 H24と比べて増加 【評価 : C】	
			よろず相談医、サポート薬剤師の養成(H24～)						
		市町	よろず相談医、サポート薬剤師等と連携した相談支援イベントの実施等						
			拠点病院	社会福祉士の配置					
				相談員資質向上のための研修会の実施					
		その他がん治療を行う医療機関	相談件数の基準統一に向けた検討の実施						
		患者団体等	よろず相談医、サポート薬剤師の養成研修会への参加						
			県との共催や後援を受けた公開講座などの実施						
				がん患者サロンの開催					
			企業	Teamがん対策ひろしまへの参画					
がん検診へ行こうよ推進会議への参画(H22～)									
県民	相談窓口の情報獲得、サロンへの積極的な参加								
がん患者団体等の活動充実・強化	県	患者団体等の実施する事業に対する助成金の交付							
		Teamがん対策ひろしま事業の実施							
	企業	Teamがん対策ひろしま登録企業による患者団体支援							
	患者団体等	患者団体が主催する様々な主体が参加するイベントの開催							
助成金を活用した広報等の実施									
実績	院外相談数が増加した施設	国指定	4施設/11施設	6施設/11施設					
	患者サロン参加者数が増加した施設	県指定	2施設/5施設	2施設/5施設					
効果及び課題	具体的な効果及び課題	国指定	7施設/11施設	8施設/11施設					
		県指定	2施設/5施設	3施設/5施設					
		【効果】	・相談支援センターをはじめとした各種相談窓口の充実が図れている。						
		【課題】	・がん相談件数の集計方法について、明確な統一基準が定められないことから、正確な相談件数の把握が困難である。 ・患者団体等の自立した運営に対する支援について、検討する必要がある。						
【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能									

■がん患者・家族等への相談対応 に関する取組内容とその実績・効果等 (県がん対策推進計画〔第2次〕 p106)

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)	
取組内容	ピア・サポートの充実	県	養成に係るプログラム検討	試行研修の実施	ピアサポーター養成研修の本格実施			【評価 : C】 理由 ・ピアサポーターの養成については、順調に進んでいるが、相談支援センター等と連携したがん相談の実施については、円滑な実施まで多少時間が必要。 【指標に対する評価】 ■ピア・サポートとして相談支援を行う人材の養成 22人 【評価 : B】 理由 ・養成者数については、順調に増加している。	
					活用に係る検討	フォローアップ研修の実施	ピアサポーター登録・管理		拠点病院等での活用への支援
			「がん患者フレンドコール」の引き続きの開設、利用状況を踏まえた取組の推進						ピアサポーターの活用
取組内容	ピア・サポートの充実	拠点病院	プログラム等検討への協力	ピアサポーター養成への協力(研修講師・見学実習、受講者への広報)			ピアサポーターの活用	【評価 : B】 理由 ・養成者数については、順調に増加している。	
				活用に係る検討への協力	患者サロン等の設置・活動の充実				
			患者サロン等の設置・活動の充実						
取組内容	ピア・サポートの充実	患者団体	プログラム等検討への協力	ピアサポーター養成への協力(研修講師・受講者への広報等)			ピアサポーターの活用	【評価 : B】 理由 ・養成者数については、順調に増加している。	
				活用に係る検討への協力	患者サロン等の設置・活動の充実				
			患者サロン等の設置・活動の充実						
実績	ピア・サポートとして相談支援を行う人材の養成		養成研修プログラムの完成	修了者15名	修了者10名				
効果及び課題	具体的な効果及び課題		【効果】 ・平成26年度からの養成研修により、15名を養成(平成27年度は11名修了予定) 【課題及び対応策】 ・修了者のレベルが様々であるため、拠点病院等での活用が難しく、導入が進んでいない。 ・がんピアサポーターの知名度が低く、直接的なニーズに繋がっていない。 ⇒スキルアップを図るためのフォローアップ研修の実施。 ⇒拠点病院へは、まずがんサロン等での活動を通じ、経験や信頼を積むことにより1対1の相談などへ活動の幅を広げていくことを目的として段階的に導入していく。また、サロン等へサポーターが参加することで認知度の向上につながり、ニーズの掘り起こしになる。					【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能	

■がん患者・家族等への相談対応 に関する取組内容とその実績・効果等（県がん対策推進計画〔第2次〕 p107）

H28.3.23 広島県がん対策課
目標
(平成29年度)

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	【取組に対する評価】 【評価 : C】 理由 ・新たな広報手法について議論が進んでおらず、広報強化について順調に進んでいるとは言えない。 【指標に対する評価】 ■すべての相談支援センターの院外相談件数増加 H24と比べて増加 【評価 : C】 理由 ・半数の施設で院外相談件数が増加しているが、総数で比べると減少となっている。 ■すべての相談支援センターの患者サロン参加者数増 H24と比べて増加 【評価 : C】 理由 ・約7割の施設で患者サロンへの参加者数が増加しているが、総数で比べると横ばいとなっている。 【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能
取組内容	相談支援センター等の広報強化	県	がん患者フレンドコールを継続して実施 リレー・フォー・ライフへの参加 がんネットへの窓口掲載及びがんネットアクセス数増加の取組 新たな広報に関する検討					
		拠点病院	リレー・フォー・ライフへ参加(がん相談窓口の紹介, 院外患者の利用について広報) 相談支援センターの案内強化など 相談支援センター利用者アンケートの実施 → 機能強化手法の検討					
		患者団体	がん患者フレンドコールの紹介(市民公開講座等) リレー・フォー・ライフへの参加(相談窓口の紹介) パンフレット等への各種相談窓口の紹介					
実績	院外相談数が増加した施設	国指定	4施設/11施設	6施設/11施設				
		県指定	2施設/5施設	2施設/5施設				
効果及び課題	具体的な効果及び課題	国指定	7施設/11施設	8施設/11施設				
		県指定	2施設/5施設	3施設/5施設				
【効果】 ・各種窓口について、様々な機会を通じて広報している。 【課題】 ・広報の強化について新たな取組みがなく、効果的な広報の取組について検討する必要がある。 ・院外相談について県民への周知が進んでおらず、利用できないと考えている患者等もいることから、より一層の広報が必要である。								

■がん教育 に関する取組内容とその実績・効果等（県がん対策推進計画〔第2次〕 p108）

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)
取組内容	子どもの頃からのがんに関する正しい理解に向けた取組推進	県		教職員に対する研修実施（県立学校） ・保健主事研修において、がん教育の必要性等について講義		モデル校による授業実施 地域の連携・協力体制の構築	「がん教育」の学校教育への導入（全ての市町）	【取組に対する評価】 【評価 : B】 理由 ・教職員のがん教育への理解が深まり、教育委員会と協力して学校教育へのがん教育の導入に向けた準備が進んでいる。
		市町		教職員に対する研修実施（小・中学校） ・保健主事研修において、がん教育の必要性等について講義		モデル校による授業実施 地域の連携・協力体制の構築	「がん教育」の学校教育への導入（全ての市町）	
		拠点病院			出前講座実施	地域の連携・協力体制の構築	出前講座等実施	【指標に対する評価】 ■すべての市町における出前講座実施 【評価 : B】 理由 ・がん診療連携拠点病院等の個別の取組において、出前講座を実施している。
		その他がん治療を行う医療機関				地域の連携・協力体制の構築	出前講座等実施	
		患者団体等				地域の連携・協力体制の構築	出前講座等実施	
		県民						
実績	保健主事研修受講者数			530名	522名			【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能
効果及び課題	具体的な効果及び課題			【効果】 ・一定の教職員におけるがん教育の必要性及び「がん」に関する理解は深まった。 【課題】 ・授業実施に当たって、学校では何をどう進めてよいか分からない。 ・広島市及び福山市教育委員会については、県教育委員会に研修権限がないため、教職員に対する研修ができておらず、機運醸成が十分ではない。				

■がん患者・経験者等への就労支援 に関する取組内容とその実績・効果等 (県がん対策推進計画〔第2次〕 p109)

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)
取組内容	働きやすい職場環境と相談支援体制づくり	県	連携手法の検討	「Teamがん対策ひろしま」事業を実施				【評価 : B】 理由 ・相談実施体制は整いつつあるとともに、職場環境についても優良事例の紹介等、多くの企業へ広げる取組を行っている。 【指標に対する評価】 ■すべての相談支援センターでハローワークや社会保険労務士等との連携体制構築 【評価 : B】 理由 ・社会保険労務士等と連携に関する体制を整えている施設も増えてきている。
			企業への就労支援セミナーの開催					
		市町	地域の療養情報の配布に対する協力					
		拠点病院	就労支援に関する相談員研修の実施	ハローワークと連携した情報提供の実施				
			地域の療養情報の配布に対する協力					
		企業	Teamがん対策ひろしまへの参画					
			就労支援セミナーへの参加					
県民	がんに対する正しい知識の習得							
実績	相談支援センターでハローワークや社会保険労務士等との連携体制を構築		1病院	4病院	4病院			
	Teamがん対策ひろしま登録企業数	登録数(単年) 登録数(累計)	—	14社 14社	11社 25社			
効果及び課題	具体的な効果及び課題	【効果】 ・社会保険労務士等との連携体制について、各相談支援センターで検討し、必要に応じて対応できる体制を整えているセンターが増えてきている。 【課題】 ・すべての相談支援センターでハローワークや社会保険労務士等との連携体制を構築できるような支援を検討する必要がある。 ・市町や患者団体等との協力について、より積極的な取組を検討していく必要がある。					【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能	

■がん患者・経験者等への就労支援 に関する取組内容とその実績・効果等 (県がん対策推進計画〔第2次〕 p109)

H28.3.23 広島県がん対策課

取組の方向性		実施主体	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標 (平成29年度)	
取組内容	仕事と治療の両立支援	県	企業実態調査→啓発冊子の作成	啓発冊子による企業への啓発				【評価 : C】 理由 ・Teamがん対策ひろしま登録企業数は目標に向けて順調に推移し、県としても就労支援セミナーを実施する等を行っているものの、すべての登録企業で実際の取組が始まっている訳ではないため。 【指標に対する評価】 ■「Teamがん対策ひろしま」登録企業として評価 ・15社(現内部目標:30社) 【評価 : A】 理由 ・当初目標はすでに達成しており、目標を上方修正し取り組んでいる。	
			連携手法	「Teamがん対策ひろしま」事業を開始					
				企業への就労支援セミナーの開催					
		拠点病院			就労支援に関する相談員研修の実施				
			休日の診療等、仕事や家庭生活と治療の両立支援						
		その他がん治療を行う医療機関			就労支援に関する相談員研修への参加				
休日の診療等、仕事や家庭生活と治療の両立支援									
企業			Teamがん対策ひろしまへの参画						
	就労支援セミナーへの参加								
県民	治療や就労等での課題を治療先・勤務先と共有し、連携して対応								
実績	Teamがん対策ひろしま登録企業数	登録数(単年)	—	14社	11社				
		登録数(累計)		14社	25社				
効果及び課題	具体的な効果及び課題		【効果】 ・Teamがん対策ひろしま登録企業においては、県と直接的に連携することにより、がん就労支援に関する具体的なイメージが構築されつつある。(優良企業の表彰、がん就労支援セミナーへの参加等) 【課題】 ・企業規模や経営状況等といった「企業における個々の事情」から、がん就労支援の必要性は理解しているものの実際の行動に移せていない企業も少なくない。(※特に中小企業)また、企業としても、何から着手すればよいのか十分な情報を持っていない。						
【評価の方法】 A・・・既に目標を達成 B・・・目標に対して順調に推移 C・・・変化が横ばい D・・・目標に対して減退傾向 E・・・状況確認不能									